

極真空手田畑道場十年大計たる第3弾

「次世代の育成について」

2021年6月

本部道場の運営強化と次世代の育成を考慮して、伝統ある酒田支部教室を本部運営から早坂恵人支部長に引き継いで頂くことになりました。

黒沼が闘病中に上田師範代をはじめ、早坂支部長が中心になり黒沼不在の酒田支部を支えて頂きました。

皆様もご存じのように、早坂支部長は不慮の事故で九死一生を得て、その命を長い間極真田畑道場のために、ただひたすら尽くしてくれました。言は訥（とつ）ではありますが、極真道を我が道として人生の艱難辛苦の中にあっても極真精神をもってして努力精進してきた人物です。

酒田出身の私としては、酒田支部開設からの思いなどがあり一抹の寂しさがありますが、ここは早坂支部長に我が思いを託したいと思うに至りました。

早坂支部長を7月より酒田支部の責任者に任命いたします。

また名称を酒田教室と致します。

山本郁子1級を米沢支部教室・トップロード高島指導員に7月より任命いたします。

黒沼が昨年の7月より闘病生活にはいり、米沢教室・トップロード高島の稽古指導が出来なくなり、山本1級に毎週水曜日に指導代行を委託しました。

毎週水曜日は米沢教室・トップロード高島の稽古があります。山本1級は、稽古委託が決まった時から、毎週月・木曜日の鈴川支部一般部と金曜日の本部一般部、土曜日本部一般部、そしてオンライン瞑想会とほとんど休まないで参加し稽古に集中し糧にしました。

真冬は凍結した道を米沢から1時間半かけて稽古に来る日も数回ありました。私はほとんど毎日山本1級と稽古していました。彼女の向上心、真面目さ、素直さ、勤勉さの凄さを知りました。今現在もこの稽古のローテーションは、現在進行形です。

山本1級は、間違いなく極真カラテの求道者です。

早坂支部長、山本1級とも極真カラテの伝道師になるべく両名の今後に大きく期待するところです。各々が自分の人生を生涯の修業を空手の道に通じ、極真の道を全うしていく吾々は同志でありましょう。

※「極真田畑道場十年の大計」ファイルに収めて下さい。